

進路探究報告

医療系の職業のそれぞれの必要性やつながり
仕事内容を実際に体験しながら
楽しく学ぶことができました。

医療系の職は一人一人に親身になって
寄り添う事のできる職業なんだなと思いました

それぞれの得意な分野で専門的な医療を
届けようと全力を尽くして活動していて、
だからさまざまな患者に合った医療が
受けられるんだなと感じました。

MRI の磁力の体験では、外からみたら
ただの空間に見えるのに、見えない強い磁力が
あることを実感できました。

スチール缶を動かしてみて、缶の底から
磁力線が出ているような感覚を体験できました。

理学療法分野の時に、大人だけでなく
子供の治療もあることに気付かされ、
調べてみようと思った。

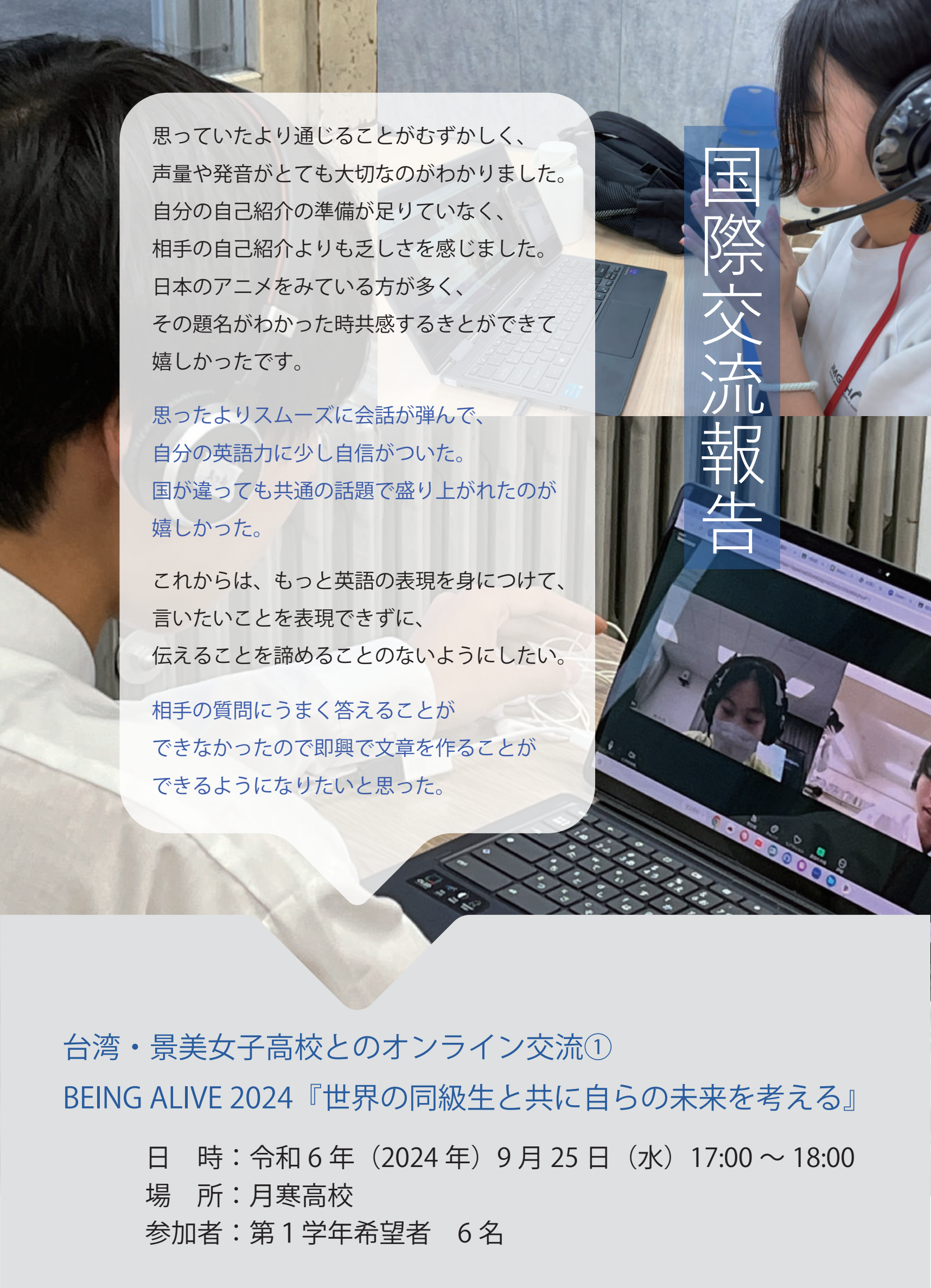
北海道大学病院との連携特別講座

BEING ALIVE 2024 『予防医療と医療の個別化がもたらす未来』

日 時：令和6年（2024年）9月23日（月）14:00～16:10

場 所：北海道大学病院

参加者：第1学年希望者 14名



国際交流報告

思っていたより通じることがむずかしく、
声量や発音がとても大切なのがありました。
自分の自己紹介の準備が足りていなく、
相手の自己紹介よりも乏しさを感じました。
日本のアニメをみている方が多く、
その題名がわかった時共感するきとができて
嬉しかったです。

思ったよりスムーズに会話が弾んで、
自分の英語力に少し自信がついた。
国が違っても共通の話題で盛り上がったのが
嬉しかった。

これからは、もっと英語の表現を身につけて、
言いたいことを表現できずに、
伝えることを諦めることのないようにしたい。

相手の質問にうまく答えることが
できなかったので即興で文章を作ることが
できるようになりたいと思った。

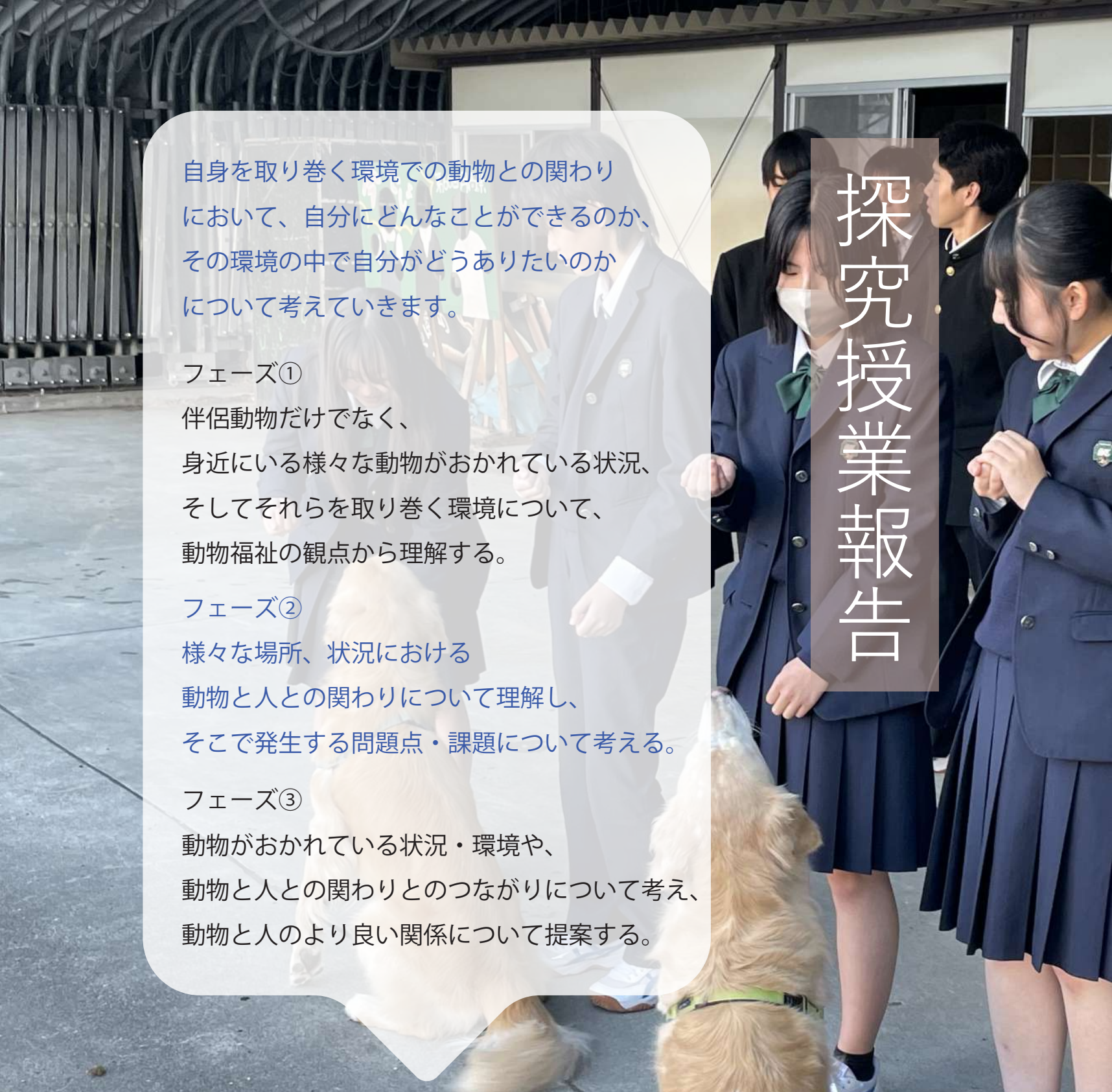
台湾・景美女子高校とのオンライン交流①

BEING ALIVE 2024 『世界の同級生と共に自らの未来を考える』

日 時：令和6年（2024年）9月25日（水）17:00～18:00

場 所：月寒高校

参加者：第1学年希望者 6名



探究授業報告

自身を取り巻く環境での動物との関わりにおいて、自分にどんなことができるのか、その環境の中で自分がどうありたいのかについて考えていきます。

フェーズ①

伴侶動物だけでなく、身近にいる様々な動物がおかれている状況、そしてそれらを取り巻く環境について、動物福祉の観点から理解する。

フェーズ②

様々な場所、状況における動物と人との関わりについて理解し、そこで発生する問題点・課題について考える。

フェーズ③

動物がおかれている状況・環境や、動物と人との関わりとのつながりについて考え、動物と人のより良い関係について提案する。

酪農学園大学との連携特別講座

BEING ALIVE 2024 『ワンヘルスで考える 動物と人とのより良い関係』

日 時：令和6年（2024年）10月16日（水）15:25～16:15

場 所：月寒高校

参加者：第1学年希望者 29名

探究授業報告

体育館で避難所体験

◆段ボールベッドの展開

段ボールベッドは意外にも丈夫だった。

はさみやテープを使用する必要がなく

短時間でつくれる。

仕切りがあるのとないのとでは感じ方が違った。

◆就寝体験

ブルーシート 1 枚だと床の冷たさを

直で感じたり、かたくて寝返りをうてなかった。

毛布を敷くのはすごく重要だと思った。

◆非常食の試食

非常食は水で食べると美味しさも半減

冬場には特に温かいご飯を食べることは厳しい。

味はよかった。

実際に体験することにより

衛生管理の重要性や、「備え」がいかに大切な

気づくことができた。

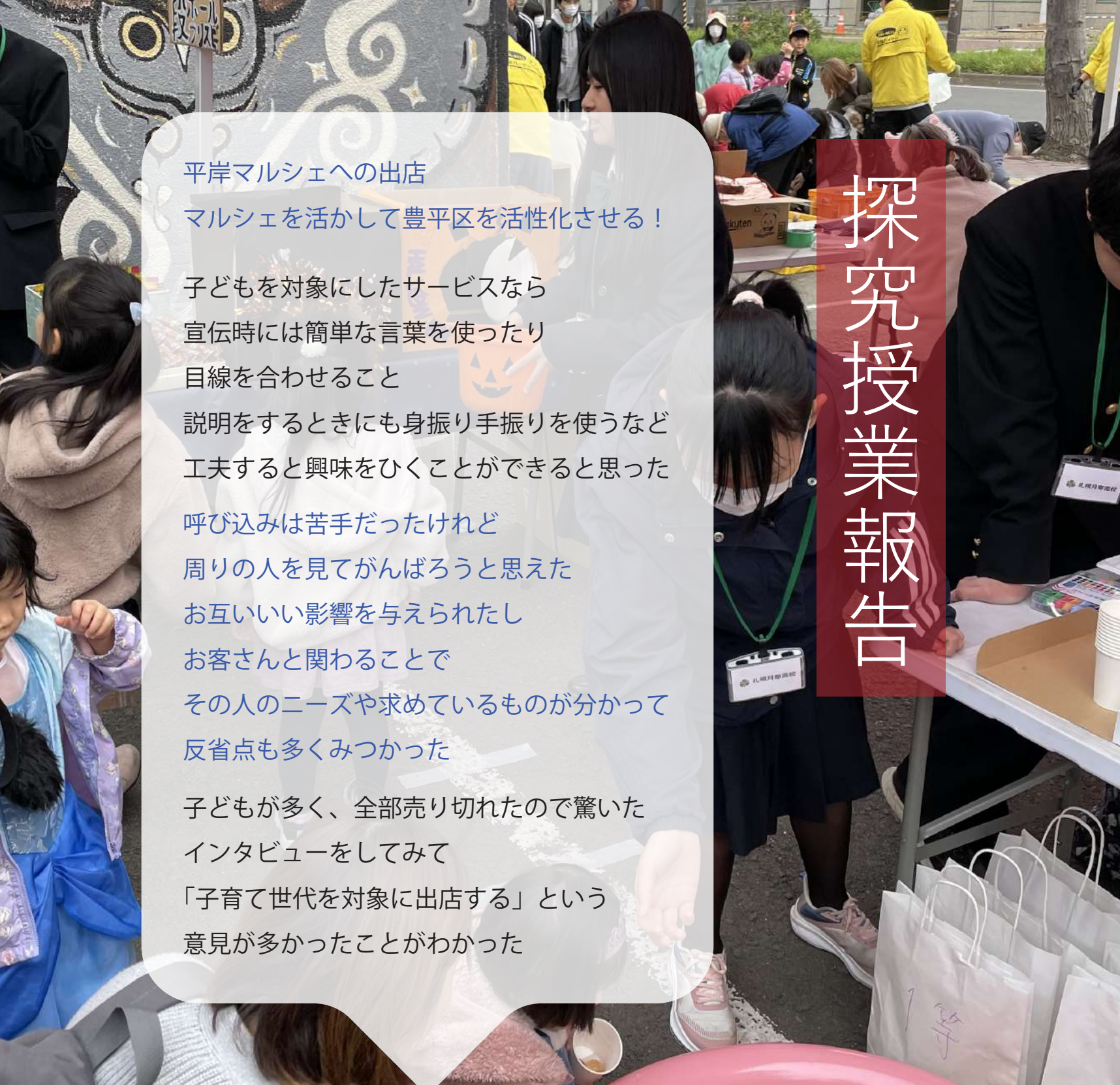
札幌市立大学との連携特別講座

BEING ALIVE 2024 『北海道という地域特性を踏まえた防災・減災』

日 時：令和 6 年（2024 年）10 月 23 日（水）15:25 ～ 16:15

場 所：月寒高校

参加者：第 1 学年希望者 28 名



平岸マルシェへの出店

マルシェを活かして豊平区を活性化させる！

子どもを対象にしたサービスなら

宣伝時には簡単な言葉を使ったり

目線を合わせること

説明をするときにも身振り手振りを使うなど

工夫すると興味をひくことができると思った

呼び込みは苦手だったけれど

周りの人を見てがんばろうと思えた

お互いいい影響を与えられたし

お客さんと関わることで

その人のニーズや求めているものが分かって

反省点も多くみつかった

子どもが多く、全部売り切れたので驚いた

インタビューをしてみて

「子育て世代を対象に出店する」という

意見が多かったことがわかった

探究授業報告

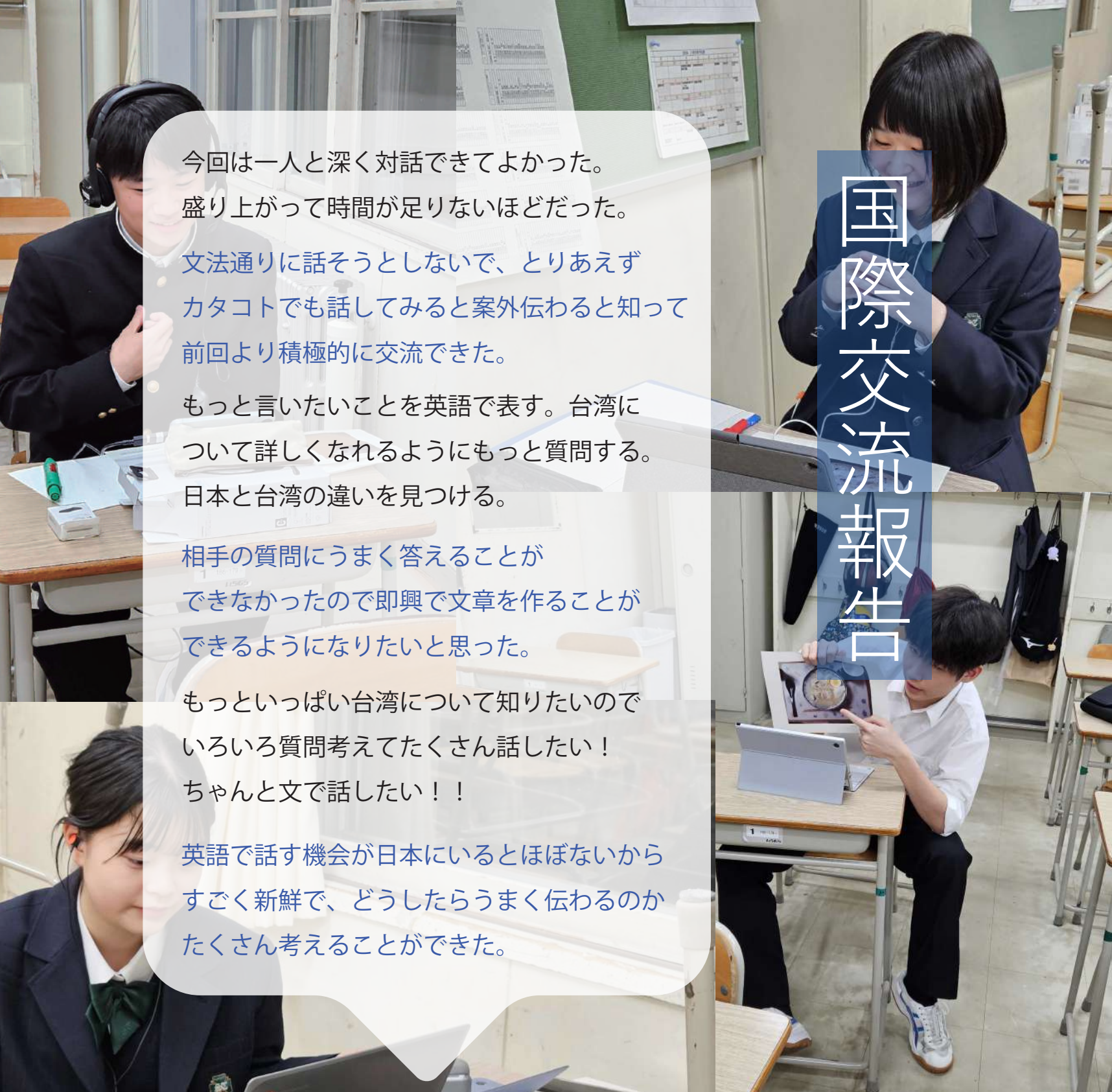
平岸ハイヤー株式会社・北海道大学との連携特別講座

BEING ALIVE 2024 『Be ambitious! ビジネスをつくろう』

日 時：令和6年（2024年）10月27日（日）10:00～15:00

場 所：平岸ハイヤー株式会社（平岸マルシェ会場）

参加者：第1学年希望者 8名



国際交流報告

今回は一人と深く対話できてよかった。
盛り上がって時間が足りないほどだった。
文法通りに話そうとしないで、とりあえず
カタコトでも話してみると案外伝わりと知って
前回より積極的に交流できた。

もっと言いたいことを英語で表す。台湾に
ついて詳しくなれるようにもっと質問する。
日本と台湾の違いを見つける。

相手の質問にうまく答えることが
できなかったので即興で文章を作ることが
できるようになりたいと思った。

もっといっぱい台湾について知りたいので
いろいろ質問考えてたくさん話したい！
ちゃんと文で話したい！！

英語で話す機会が日本にいるとほぼないから
すごく新鮮で、どうしたらうまく伝わるのか
たくさん考えることができた。

台湾・景美女子高校とのオンライン交流②

BEING ALIVE 2024 『世界の同級生と共に自らの未来を考える』

日 時：令和6年（2024年）10月30日（水）17:00～18:00

場 所：月寒高校

参加者：第1学年希望者 9名